

# សម្រាប់

JICA 海外協力隊 2021-7 次隊 カンボジア 理科教育 佐藤綾

## 協力隊活動『職種：理科教育』の様子紹介

私は、「理科教育」という職種(協力隊活動には約 190 の職種がある)でコンポンチャム州小学校教員養成校に配属されています。学校を管轄している教育省から、以下のことを協力・支援の要請をされました。

- ①理科教員と共に、実験・観察を積極的に取り入れた授業を学生に指導する。
- ②現地で入手可能な材料で理科実験道具を作成し、理科教員や学生に紹介する。
- ③学生の教育実習に同行し、授業案の作成や授業の展開について助言する。

現在、1年生6クラスの理科の授業を担当しています。理科室には、水道はなく、双眼実体顕微鏡3台、ルーペ4つ、など、薬品は揃っていません。日本の学校の理科室には、当たり前にあった道具が、こちらではない！なんていうこともしょっちゅうです。しかし、薬品を洗剤で代用したり、あるもので工夫して実験を考えたりすることは、楽しいですし、やりがいの1つです。埼玉県で教員をしていた時の経験を活かしているとも感じます。限られた実験器具、設備の中で、養成校の学生が将来、先生になったときに、実験・観察を取り入れた授業をし、理科が楽しいと思ってもらえる生徒が増えることを願って活動を行っています。未来のカンボジアを担う子供たちに間接的にも関わっていることを誇りに思い、日々の活動を頑張っています。



## សំពះព្រះសង្ឃ(ソンペアプレハソンクン)お坊さんへの合掌

小学校教員養成校の学生は、9月10月の2か月間、学年末休業に入ります。休業に入る前日に、学校にお坊さんが来てお経を唱えて下さったり、お供え物を献上しました。カンボジアでは全人口の約98%が上座部仏教を信仰しているとされ、カンボジア王国では国教にも指定されています。(信教の自由も保証されています。)学校にお坊さんが来るのは1年に1回だそうで、日本でいう修了式の行事にあたるのかなと思いました。

この日は、朝から、職員室にゴザが敷かれ、お供え物を準備し、お線香を焚いて蓮の花を生け、お坊さんをお迎えしました。約2時間の式は神聖で、厳かな雰囲気の中行われ、カンボジアの習慣に触れることができました。

